

【経済学院・経済学部】学生の外国語能力向上に関する取組

1 学生の外国語能力向上に関する取組(2021年度以降入学者に適用)

1) 外国語能力の到達目標

- ①学部2年次終了時において、自身が志望する専門分野における3年次以降の演習及び卒業論文執筆に必要な語学力の基礎を獲得することを目標とする。
- ②学部4年次終了時において、自身が選択した専門分野における演習及び卒業論文執筆に必要な語学力を獲得することを目標とする。
- ③修士課程修了時において、自身が選択する専門分野における修士論文執筆に必要な語学力を獲得することを目標とする。また、研究者志望学生にあつては博士後期進学後に必要となる学位論文執筆、プレゼンテーション能力を獲得することを目標とする。
- ④会計専門職大学院修了時においては、国際的な視点を持った専門職業人として必要となる語学力を修得することを目標とする。

2) 外国語能力を向上させるために実施する取組

- ①学部学生に対し、外部試験のスコアを2度提出させ、得点の向上が顕著であった学生を表彰することで、英語力アップに向けた継続的な学修促すことを目的として実施している「英語力ブラッシュ・アップ・プログラム」について、引き続きエントリー学生及び成績報告学生の増加に努める。また、当該プログラムの実施期間が令和2年度までとなっていることから、学生の自発的学修を促す新たな方策について検討する。
- ②本学部・学院において積極的に提供しているサマー・インスティテュート科目について、履修を推奨するとともに、他の授業科目との開講重複が無いよう開催時期等について改善を図る。
- ③外国人留学生(研究生・大学院学生)の語学力及び論文執筆に必要な情報に必要なサポートを行う為、インターナショナル・サポート・デスクを設置している。当該デスクを博士後期課程学生がスタッフとなって行うことにより、外国人留学生のサポートと同時に、スタッフ学生の語学力・コミュニケーション能力の養成の役割も果たしている。

2. 学生の国際性を涵養できた事例

学生Aは、本学入学と同時に新渡戸カレッジに入学し、1年次から新渡戸カレッジ科目で開講されている新渡戸学や多文化交流科目、留学支援英語を履修することで、英語基礎力及び国際理解の向上に努めた。2年次1学期から3年次2学期にかけて、専門科目の外国書講読を始め、国際交流科目、新渡戸カレッジ科目等を多く履修・修得した後、3年次の9月に大学間交流協定に基づく交換留学生として、香港中文大学への留学を実現させ、実践的な英語力・異文化理解を深めた。

帰国後、4年次からは留学先での経験を活かした専門研究を進めるとともに、新渡戸カレッジの修了要件を満たし、専門分野での能力とグローバル人材として能力を高いレベルで両立、獲得したことを証明した。

卒業後は、これまでの経験を活かし、海外事業を積極的に展開する生命保険会社に就職し、更なる活躍が見込まれている。